

COVID-19

ロサンゼルス郡公衆衛生局 入場時のスクリーニング

次の重大な更新を含みます：

- 8/6/21:** ビジネスと雇用主向けのガイドを参照する部分が追加されました。入場を許可されない人物のリストが更新されました。サンプルスクリーニングのテンプレートが削除されました。
- 7/30/21:** Cal/OSHAとカリフォルニア州公衆衛生局の入場時のスクリーニングの必須条件に関する参照が追加されました。

入場時のスクリーニングはCOVID-19の拡散を制限するのに役立つ戦略です。全ての従業員が職場に入場する前にスクリーニングを行うことがCal/OSHAによって必須とされています。また、カリフォルニア州公衆衛生局は、医療施設への全ての訪問者 ([AFL 20-38.7](#)) に対してスクリーニングを行うことを必須としています。しかし医療施設ではない多くの設定での顧客、常連客、又は訪問者向けに入場時のスクリーニングを行うことは必須ではありませんが、施設に入場する全ての人にスクリーニングを行うことが最善予防策と考えられます。COVID-19を予防するその他の最善方法については[ビジネスと雇用主向けのガイド](#)をご覧ください。

Cal/OSHAの[COVID-19予防緊急一時標準](#) (ETS) は、従業員が職場に入る前にCOVID-19の症状に対するスクリーニングを行うプロセスを雇用主が開発・実行することを必須としています。

入場時のスクリーニングのオプションは次を含みます：

- 出勤前に個人が自宅で自身の症状を評価する（例えばオンラインチェックインシステムなど）
- 症状がある、又は隔離・検疫命令下にある個人の入場が許可されていないことを示す標識を職場の入り口に表示する。
- 施設で対面式のスクリーニングを行う。

注：スクリーニングプロセスに最近、又は現在の発熱に関する事項を含む場合、施設の入り口で実際に熱を測ることはオプションとなります。

以下の場合、職場に入ることは許可されません：

- COVID-19の症状がある¹
- 熱がある（100.4° F又は38° Cかそれ以上）
- 現在衛生担当官の隔離・検疫命令下にある

注：医療施設での入場時のスクリーニングは異なります。適切なカリフォルニア州公衆衛生局の全ての施設へのメモ (AFLs) を参照してください。

¹ COVID-19の症状には発熱や悪寒、咳、息切れや呼吸困難、疲労感、筋肉や体の痛み、頭痛、のどの痛み、吐き気や嘔吐、下痢、鼻づまりや鼻水、又は新しい味や匂いの損失を含みます。